

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	204	学校名	仙台市立上杉山中学校	校長名	村上 秀樹
------	-----	-----	------------	-----	-------

1 「地域連携と環境の輪」



2 取組の紹介

【落ち葉拾い活動】

毎年、落ち葉が多くなる時期にボランティア生徒を募り、JRC委員と整備委員が中心となって学校の敷地内と学校周辺の歩道の落ち葉掃きを行っています。[写真①]学校周辺にあるイチョウの葉によって道路が滑りやすくなることもあり、地域の方々の安全面を考え、この活動を実施しています。

【地域清掃】

JRC委員が中心となり、登校中に道端に落ちているゴミを拾い、地域の美化に貢献するという活動を行っています。[写真②]この活動は毎月、全校生徒で取り組んでいる活動であり、この活動を通して生徒一人一人のボランティア精神が高められています。

【地区町並み美化活動】

上杉地区連合町内会とJRC委員会がタイアップし、清掃活動に取り組みました。[写真③]この活動では上杉地区にお住まいの多くの方々と協力しながら「愛宕上杉通」の歩道をきれいにすることができました。今後も地域と学校が結びついた活動の輪を広げていきたいです。

【エコキャップ運動】

生徒会執行部が中心となって行っている活動です。回収されたペットボトルキャップ[写真④]は、回収業者を通して世界の子供たちのためのワクチンや、様々なプラスチック製品として役立たせています。



[写真①]



[写真②]



[写真③]



[写真④]

3 取組の成果

上杉山中学校では、それぞれの活動を通して自分たちを取り巻く環境の課題を生徒が自ら見つけ、改善策を考え、実行する力を身に付けています。これらの活動はSDGsの「すべての人に健康と福祉を」「住み続けられるまちづくりを」「つくる責任、つかう責任」の3つに結びついており、生徒たちはそれぞれの取組を通して活動の大切さやボランティアの意義についても深く学んでいます。この学びが今の上杉山中学校の生徒の活動の源となっています。今年度は特に地域との連携事業を実践しており、これからの地域連携にも今以上に、生徒たちと地域の方々との活動の輪を広げていきたいと考えています。